表紙の写真

右：*Curcuma longa* L. ウコン，鬱金，*Curcumin*（日本富山県にて，1992年8月1日）
左：*Curcuma kwangsiensis* S. G. Lee et C. F. Liang，莪朮（中国広西壮族自治区桂平市にて，2001年9月16日，小松かつ子）

Curcuma 属植物の根茎はアジア各地で薬用に供されます。日本では，中国から輸入される漢薬の鬱金（中国では姜黄と称す；*C. longa*）が健胃，利胆薬など，莪朮が健胃，駆風，鎮痛，通経薬などとされます。また，健康食品として日本産のウコン（アキウコン；*C. longa*），ハルウコン（*C. aromatica* Salisb.），ガジュツ（ムラサキウコン；*C. zedoaria* Rosc.）が汎用されます。これらの内，中国産の莪朮はこれまで原植物が不明でしたが，遺伝子解析の結果，広西壮族自治区産は主に *C. kwangsiensis*，四川省産は *C. phaeocaulis* Val. であることが判明しました。現在，拠点大学方式による学術交流事業の一環として，中国産の *Curcuma* 属植物のほか，タイ国産の同属植物についても基源並びに薬理作用に関する研究が進行中です。